

【 計画概要 】

用途地域	第一種中高層住居専用地域
建蔽率/容積率	60(70)/150
高度地区	第2種高度地区
防火地域	準防火地域
その他地域	宅地造成等工事規制区域 日影規制値 3H-2H(4m) - -
主要用途	一戸建ての住宅
工事種別	新築
構造	木造3階建て
備考	- 住宅省エネルギー性能証明書(竣工時)

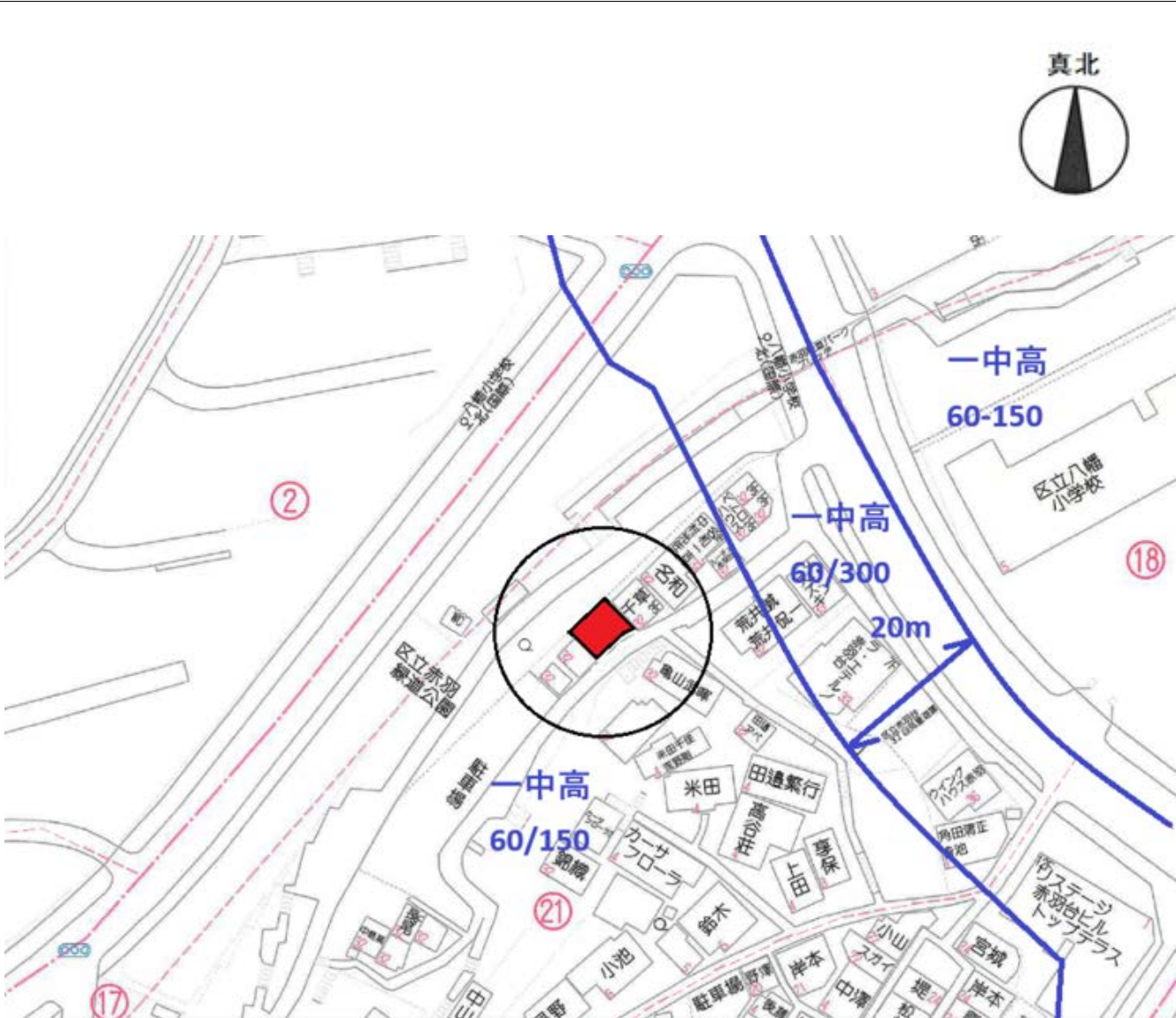
【 面積表 】

トータル面積表 (㎡)		
敷地面積		59.15
建築面積		38.19
床面積 1階	住戸部分	(22.87)
	車庫	(13.66)
2階	住戸部分	(35.71)
	外部	(2.48)
3階		22.97
延床面積		97.69
容対面積		84.03
住戸部分の面積		81.55
建蔽率	(38.19/59.15) × 100	64.57%
容積率	(84.03/59.15) × 100	142.07%

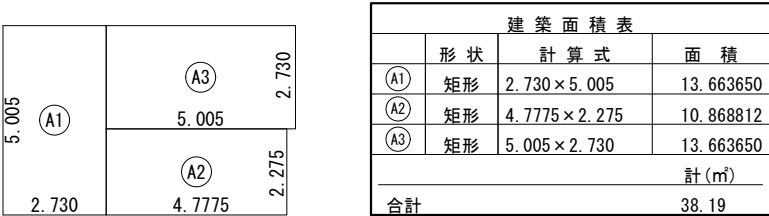
車庫 13.66 < 緩和 97.69/5=19.53 ∴容積対象外

【 案内図 】

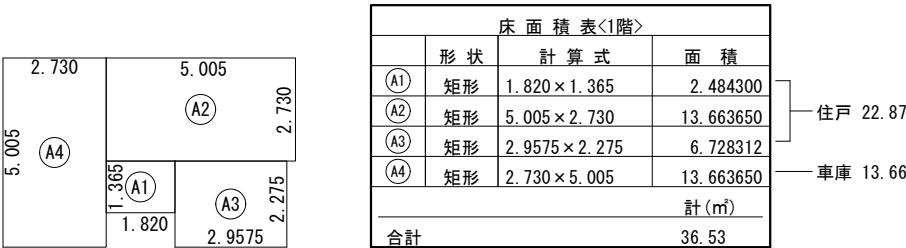
申請地 (地名地番) 東京都北区赤羽台3丁目821番5の一部
(住居表示) 東京都北区赤羽台3丁目21番(以下未定)



【 求積図 】



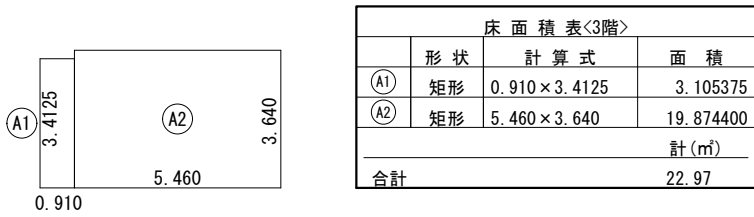
建築面積求積図 S:1/200



1階 床面積求積図 S:1/200



2階 床面積求積図 S:1/200



3階 床面積求積図 S:1/200

基準法中間検査有

工事名
スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事

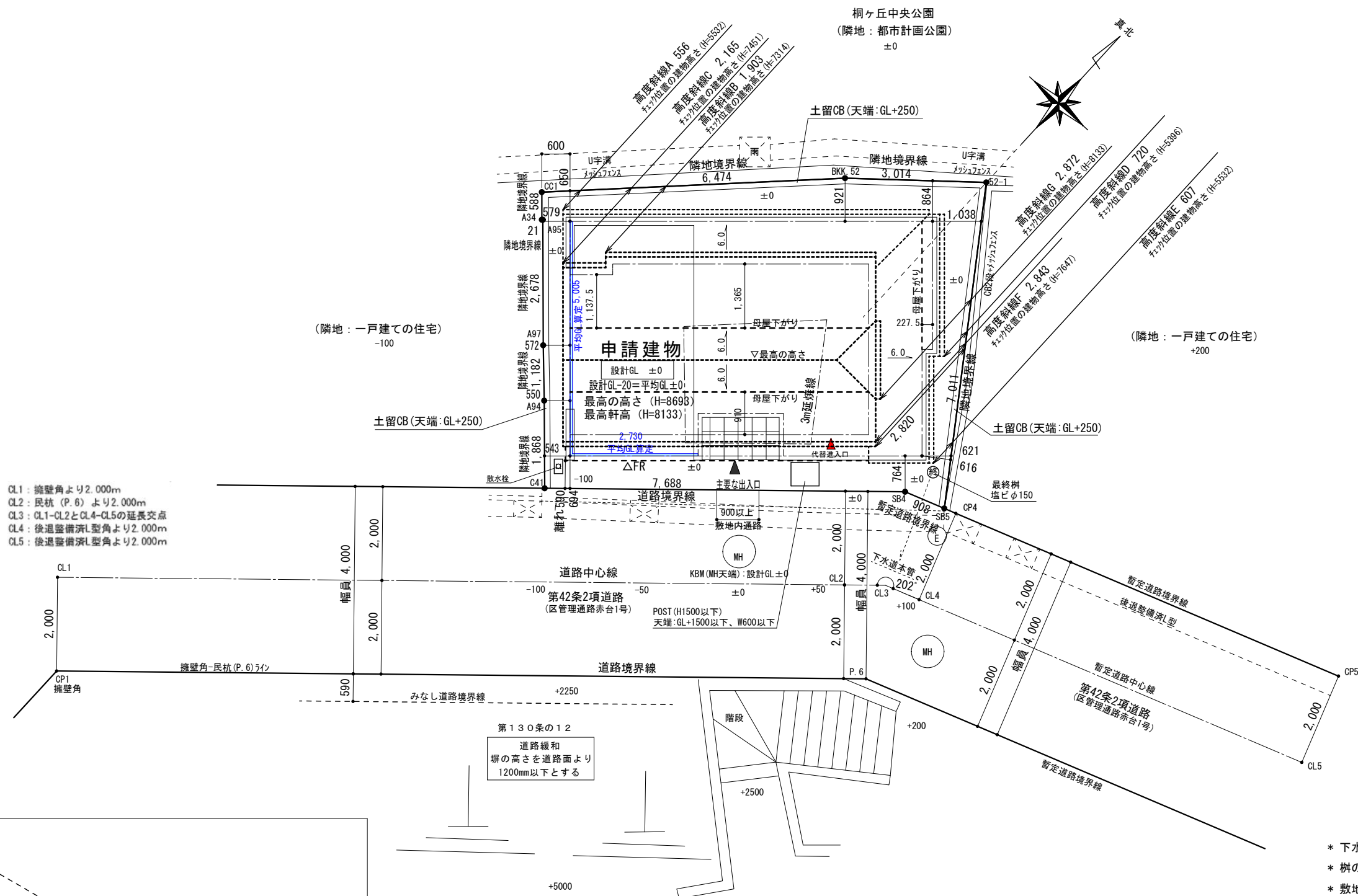
作成年月日
2026.09.30

株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所
級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一

図面名
計画概要・面積表・案内図・求積図

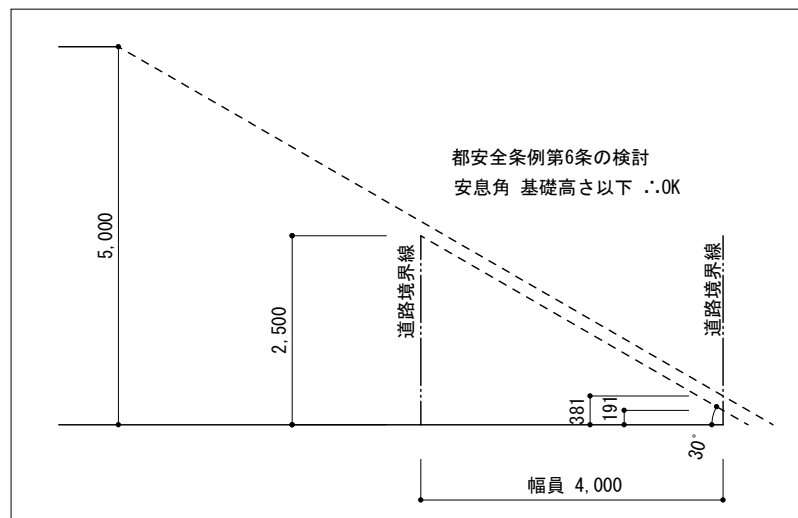
縮尺
-

更新日
-



CL1: 擁壁角より2.000m
CL2: 民杭 (P.6) より2.000m
CL3: CL1-CL2とCL4-CL5の延長交点
CL4: 後退整備済L型角より2.000m
CL5: 後退整備済L型角より2.000m

第130条の12
道路緩和
堀の高さを道路面より
1200mm以下とする



延焼線

延焼のおそれのある部分 (1階): 3m延焼線
延焼のおそれのある部分 (2・3階): すべて

平均 G L 計算式

外周距離: $(7735+5005) \times 2 = 25480 \dots L$
算定部: $5005 \times 100 / 2 + 2730 \times 100 / 2 = 386750 \dots S$
 $S / L = 15.1785 \dots \therefore \text{平均 G L} = -20\text{mm}$ とする

- * 下水道法10条1項・水道法16条・ガス事業法162条に適合
- * 樹の位置は現場優先とする
- * 敷地内のCB堀は施行令第62条の8に適合
(H=1200を超えるCB堀は控え壁を設ける又はH1200以下にカットする)
- * 新設土留CBは安全上支障のないH=600以下とする
H=600を超えるものはRC又は型枠CPとする
- * 敷地の境界は、完了検査時までに石・銀等で明示する
- * ±0 ……設計GLからの高さを示す
- * 主要な出入口 ……主要な出入口を示す
- * 代替出入口 ……代替出入口を示す
- * 雨水合流式
- * 盛土規制法の規制対象となる切土・盛土は無し
- * 道路斜線は天空率による。記載以外の外構計画はナン

基準法中間検査有

工事名

スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事

作成年月日

2026.09.30

図面名

配置図

縮尺

1/100

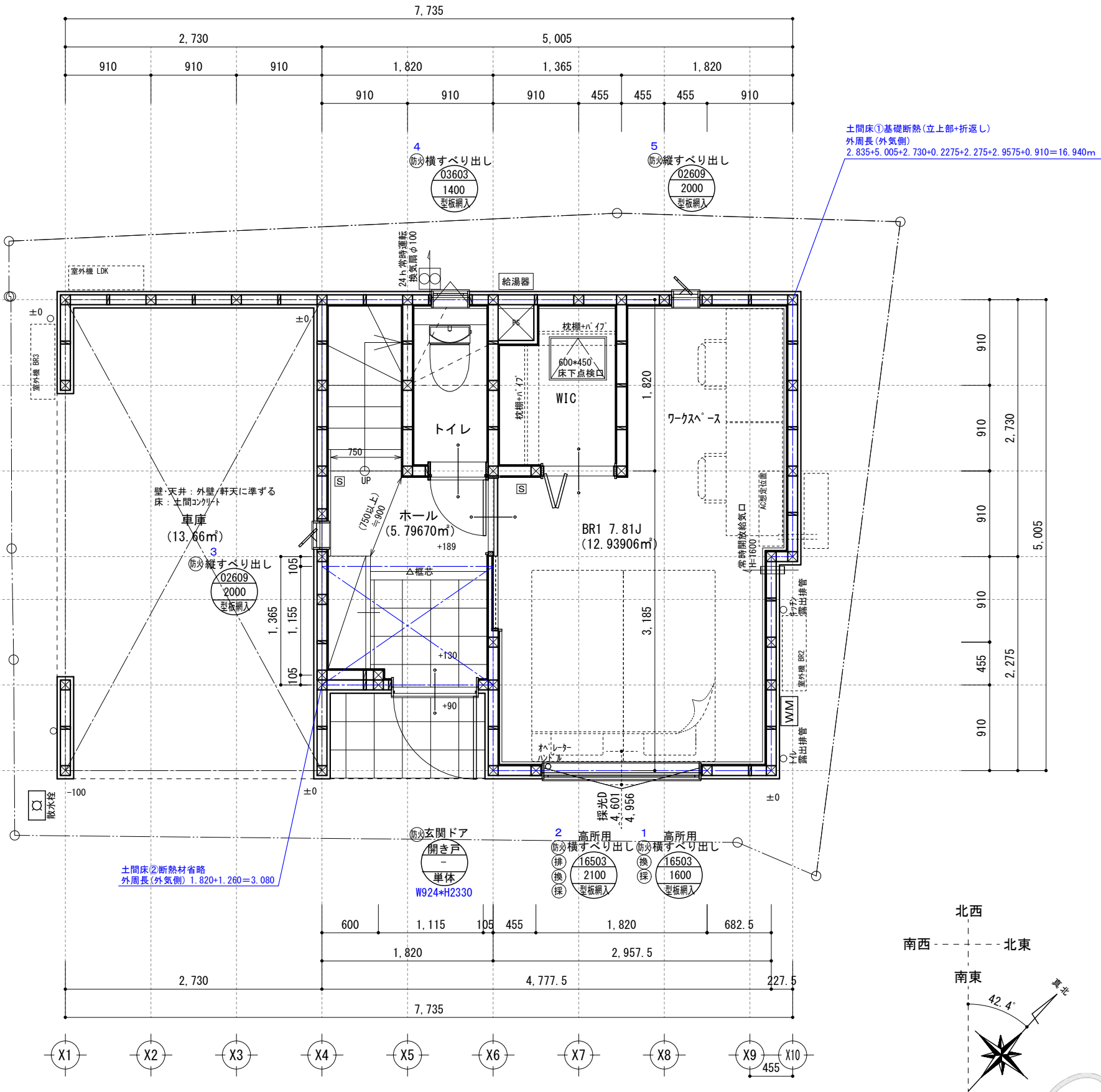
更新日

-

凡 例	
	管柱 105角 通柱・隅柱 105角 (構造図による)
	排煙に有効な開口部
	換気有効な開口部
	採光有効な開口部
	防火設備 LIXIL 防火戸F6-H 単体引違い窓マド EB-2718-1、2978、2719-1他 SH付引違い窓(手動) EB-1917-5/SH付引違い窓(電動) EB-1859-5 縦すべり出し窓EB-1555-2、1284-3他 横すべり出し窓EB-1525-3他/高所用横すべり出し窓EB-1874-2他 上げ下げ窓FS EB-1967-1/面格子付上げ下げ窓FS EB-1966-1 FIX窓(外押縁) EB-1490-2他/FIX窓(内押縁) EB-1492-2他 開き窓行EB-1191-5他/採風機手口 FFS EB-2743-1 ガゼットFN EB-2217/玄関ドア EB-1988-2他 (LIXIL/エヌ2防火戸)
サッシ記号	FIX窓 ← 種類 ※特記なき場合は引違い窓 06909 ← サイズ 2000 ← 内法高(基準FL3Y) 透明網入 ← ガラス種類
	給湯器 告示1447号による
	換気扇 φ150 (FD付) 換気扇 φ100 (SVC付)
	24h常時運転換気扇 φ100 (SVC付) V-08PD8
	24h常時開放給気口 φ100 (SVC付)
	キッチン用給気口 φ100 (SVC付)
	住宅用火災警報器 煙感知式 検定品・電池式
	住宅用火災警報器 熱感知式 検定品・電池式
壁面(天井付の場合)・引掛シーリングより60cm以上離す AC吹出口より150cm以上離す	
※ 階段には手摺を設置する(出幅10cm以下) ※ 小屋裏・天井裏・床下・間仕切・外壁にはF☆☆☆☆以上を使用する ※ 屋内の天井・壁・床・建具・接着剤等にはF☆☆☆☆以上を使用する ※ 各室建具のアンダーカット(10mm)を換気経路とする ※ 24h換気給気口・換気扇設置位置はH=1,600以上とする ※ 要所に天井点検口を設置	
階段の検討(木造)	
有効幅：750以上 踏面：150以上 手摺を設ける(出幅100以下)	(1階～2階) 蹴上：205.23 (13段) (2階～3階) 蹴上：207.00 (13段)

排煙計算 BR1	
必要面積：12.93906×1/50＝0.26・・・A	
有効窓高さ：0.8-(2.3-2.1)＝0.6 ∴H0.3すべて有効	
有効窓面積：1.65×0.3＝0.49＞A	
換気計算 BR1	
必要排気面積：12.93906×1/20＝0.65・・・A	
有効窓面積：1.65×0.3×2箇所＝0.99＞A	
採光計算 BR1	
必要面積：12.93906×1/7＝1.85・・・A	
窓面積：1.65×0.3×2箇所＝0.99	
採光補正係数：4601/4759×6-1.4＝4.40 ∴3.0	
4956/5967×6-1.4＝3.58 ∴3.0	
有効面積：0.99×3.0＝2.97＞A	

外皮計算用 面積リスト	
土間床①基礎断熱1F床面積) 22.8762625	
土間床②断熱省略(玄関)	
屋根①面積 (6寸)水平投影面積 22.979775+9.8336875=32.8134625	
屋根②面積 (FR) 2.89835	
外気に接する床 12.83555	
一次エネルギー 面積リスト	
主たる居室：	
LDK 25.36056 +1Fホ-ル 5.7967	
+2F階段 2.89835+1.6562 +3Fホ-ル 3.72645	
= 39.43826㎡	
その他の居室：	
BR1 12.93906 +BR2 8.69505 +BR3 7.4529	
= 29.08701㎡	
延床面積：	
1F 22.8762625 +2F 35.7118125	
+3F 22.979775 = 81.56785㎡	
床暖敷設率：	
(7715.50854㎡/主たる居室39.43826㎡)×100=13.9%	



※必要に応じ配線・配管等の設備スペースを設ける場合がございます。設備スペースを設ける場合、天井高・壁厚などが変更になる場合がございます。

基準法中間検査有	工事名 スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事	作成年月日 2026.09.05	
		図面名 1階 平面詳細図	更新日 -
株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所 一級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一	縮尺 1/50	更新日 -	

確認申請 2026-08-18-5-068 6 A-意匠図20260930.pdf

凡 例	
	防火 防火設備 LIXIL 防火戸FG-H 単体引違い窓マド EB-2718-1、2978、2719-1他 SH付引違い窓(手動) EB-1917-5/SH付引違い窓(電動) EB-1859-5 縦すべり出し窓 EB-1555-2、1284-3他 横すべり出し窓 EB-1525-3他/高所用横すべり出し窓 EB-1874-2他 上げ下げ窓 FS EB-1967-1/面格子付上げ下げ窓 FS EB-1966-1 FIX窓(外押縁) EB-1490-2他/FIX窓(内押縁) EB-1492-2他 開き窓行窓 EB-1191-5他/採風機手口 FFS EB-2743-1 ガゼットFN EB-2217/玄関ド FGB-1988-2他 (LIXILシールド防火戸)
	サッシ記号 FIX窓 ← 種類 ※特記なき場合は引違い窓 06909 ← サイズ 2000 ← 内法高(基準FL3Y) 透明網入 ← ガラス種類
	給湯器 給湯器 告示1447号による
	換気扇 φ150 (FD付) 換気扇 φ100 (SVC付)
	24h常時運転換気扇 φ100 (SVC付) V-08PD8
	24h常時開放給気口 φ100 (SVC付)
	キッチン用給気口 φ100 (SVC付)
	住宅用火災警報器 煙感知式 検定品・電池式 住宅用火災警報器 熱感知式 検定品・電池式 壁面(天井付の場合)・引掛シーリングより60cm以上離す AC吹出口より150cm以上離す
※ 階段には手摺を設置する(出幅10cm以下) ※ 小屋裏・天井裏・床下・間仕切・外壁にはF☆☆☆☆以上を使用する ※ 屋内の天井・壁・床・建具・接着剤等にはF☆☆☆☆以上を使用する ※ 各室建具のアンダーカット(10mm)を換気経路とする ※ 24h換気給気口・換気扇設置位置はH=1,600以上とする ※ 要所に天井点検口を設置	

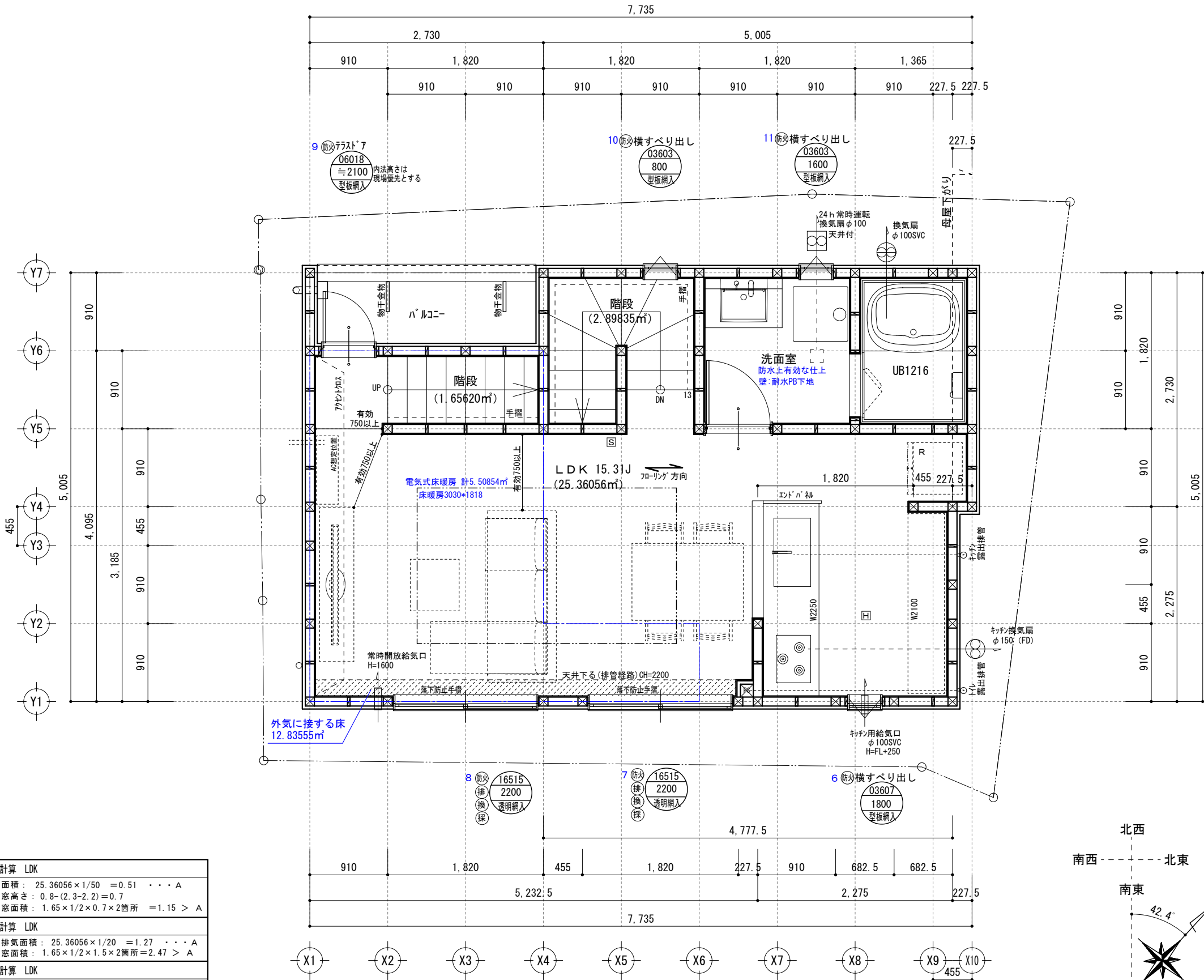
階段の検討(木造)	
有効幅：750以上 路面：150以上 手摺を設ける(出幅100以下)	(1階～2階) 蹴上：205.23 (13段) (2階～3階) 蹴上：207.00 (13段)

火気使用室 (LDK、LDKから続く階段・キッチン・PH等)	
壁：PB15.0mm ビニルクロス貼(準不燃 QM-9446) 天井：強化PB15.0mm ビニルクロス貼(準不燃 QM-9446)	

コンロ廻り仕様	
壁：PB 15.0mm (不燃)の上 キッチンパネル3mm (不燃材 NM-1699) 又は不燃材3mm以上(クイック又はタイル)	
ダクト：スパイラルダクト(ロックウール50mm巻) ※鋼製0.5mm以上又は亜鉛0.6mm以上とする 換気フード：亜鉛鉄板等 条例による処置 ※調理機器(コンロ)とガスリフト(レンジフード)との 離隔距離を800mm以上1000mm以下とする	

火気使用室の換気設備 (シロコファン)	
A：ファン風量 480 (m3/h) K：都市ガス理論換ガス量 0.93 (m3/KWh) Q：燃焼器具の燃料消費量 10 (kw) V：有効換気量 30KQ =30×0.93×10 =279 (m3/h) <A	

排煙計算 LDK	
必要面積：25.36056×1/50 =0.51・・・A 有効窓高さ：0.8-(2.3-2.2)=0.7 有効窓面積：1.65×1/2×0.7×2箇所 =1.15 > A	
換気計算 LDK	
必要排気面積：25.36056×1/20 =1.27・・・A 有効窓面積：1.65×1/2×1.5×2箇所=2.47 > A	
採光計算 LDK	
必要面積：25.36056×1/7 =3.63・・・A 窓面積：1.65×1.5×2箇所 =4.95 採光補正係数：道路に面する窓 ∴1.0 有効面積：4.95×1.0 =4.95 > A	



※必要に応じ配線・配管等の設備ハッチを設ける場合がございます。設備ハッチを設ける場合、天井高・壁厚などが変更になる場合がございます。

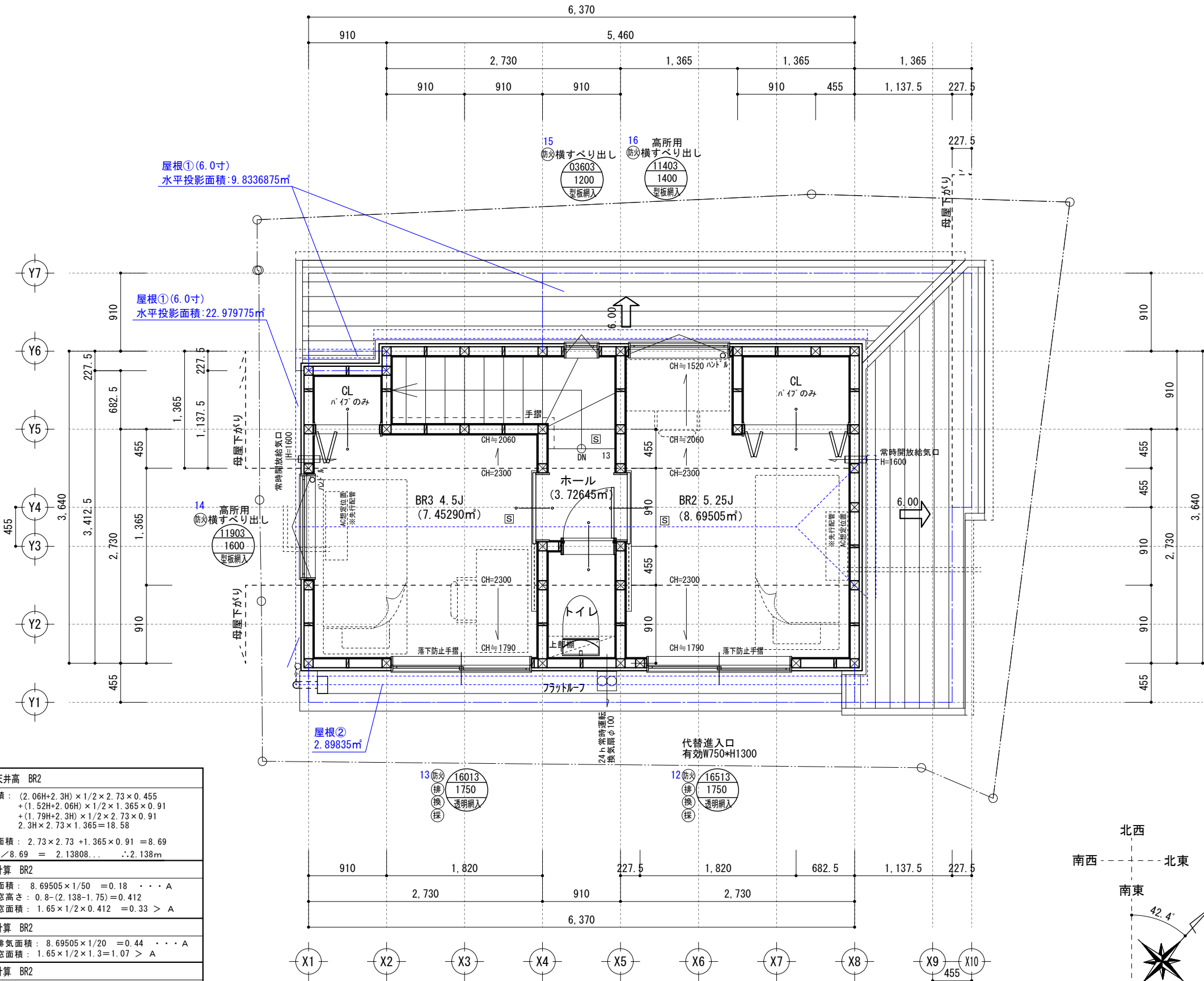
基準法中間検査有			工事名	作成年月日	
			2026.09.08		
株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所 一級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一 認申請 2026-08-18-5-068 6 A-意匠図20260930.pdf			図面名	縮尺	更新日
			2階 平面詳細図	1/50	- 4/

凡 例	
	管柱 105角 通柱・隅柱 105角 (構造図による)
	排煙に有効な開口部
	換気有効な開口部
	採光に有効な開口部
	防火設備 LIXIL 防火戸F6-H 単体引違い窓マド EB-2718-1、2978、2719-1他 SH付引違い窓(手動) EB-1917-5/SH付引違い窓(電動) EB-1859-5 縦すべり出し窓 EB-1555-2、1284-3他 横すべり出し窓 EB-1525-3他/高所用横すべり出し窓 EB-1874-2他 上げ下げ窓 FS EB-1967-1/面格子付上げ下げ窓 FS EB-1966-1 FIX窓(外押縁) EB-1490-2他/FIX窓(内押縁) EB-1492-2他 開き窓行窓 EB-1191-5他/採風機手口 FFS EB-2743-1 がゞリWN EB-2217/玄関ドア EB-1988-2他 (LIXIL エア2防火戸)
サッシ記号	FIX窓 ← 種類 ※特記なき場合は引違い窓 06909 ← サイズ 2000 ← 内法高(基準FL3Y) 透明網入 ← ガラス種類
給湯器	給湯器 告示1447号による
	換気扇 φ150 (FD付) 換気扇 φ100 (SVC付)
	24h常時運転換気扇 φ100 (SVC付) V-08PD8
	24h常時開放給気口 φ100 (SVC付)
	キッチン用給気口 φ100 (SVC付)
	住宅用火災警報器 煙感知式 検定品・電池式
	住宅用火災警報器 熱感知式 検定品・電池式
壁面(天井付の場合)・引掛シーリングより60cm以上離す AC吹出口より150cm以上離す	
※ 階段には手摺を設置する(出幅10cm以下)	
※ 小屋裏・天井裏・床下・間仕切・外壁にはF☆☆☆☆以上を使用する	
※ 屋内の天井・壁・床・建具・接着剤等にはF☆☆☆☆以上を使用する	
※ 各室建具のアンダーカット(10mm)を換気経路とする	
※ 24h換気給気口・換気扇設置位置はH=1,600以上とする	
※ 要所に天井点検口を設置	

階段の検討(木造)	
有効幅：750以上 踏面：150以上 手摺を設ける(出幅100以下)	(1階～2階) 蹴上：205.23 (13段) (2階～3階) 蹴上：207.00 (13段)

平均天井高 BR3
室容積：(2.06H+2.3H)×1/2×2.73×0.455 +(1.79H+2.3H)×1/2×2.73×0.91 2.3H×2.73×1.365=16.35
室床面積：2.73×2.73=7.45 16.35÷7.45=2.19463... ∴2.194m
排煙計算 BR3
必要面積：7.4529×1/50=0.15... A 有効窓高さ：0.8-(2.194-1.75)=0.356 有効窓面積：1.6×1/2×0.356=0.28 > A
換気計算 BR3
必要排気面積：7.4529×1/20=0.38... A 有効窓面積：1.6×1/2×1.3=1.04 > A
採光計算 BR3
必要面積：7.4529×1/7=1.07... A 窓面積：1.6×1.3=2.08 採光補正係数：道路に面する窓 ∴1.0 有効面積：2.08×1.0=2.08 > A

平均天井高 BR2
室容積：(2.06H+2.3H)×1/2×2.73×0.455 +(1.52H+2.06H)×1/2×1.365×0.91 +(1.79H+2.3H)×1/2×2.73×0.91 2.3H×2.73×1.365=18.58
室床面積：2.73×2.73+1.365×0.91=8.69 18.58÷8.69=2.13808... ∴2.138m
排煙計算 BR2
必要面積：8.69505×1/50=0.18... A 有効窓高さ：0.8-(2.138-1.75)=0.412 有効窓面積：1.65×1/2×0.412=0.33 > A
換気計算 BR2
必要排気面積：8.69505×1/20=0.44... A 有効窓面積：1.65×1/2×1.3=1.07 > A
採光計算 BR2
必要面積：8.69505×1/7=1.25... A 窓面積：1.65×1.3=2.14 採光補正係数：道路に面する窓 ∴1.0 有効面積：2.14×1.0=2.14 > A



※必要に応じ配線・配管等の設備メ-スを設ける場合がございます。設備メ-スを設ける場合、天井高・壁厚などが変更になる場合がございます。

基準法中間検査有		工事名	スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事		作成年月日	2026.08.18
		図面名	3階 平面詳細図		縮尺	更新日
株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所 一級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一	認申請 2026-08-18-5-068 6 A-意匠図20260930.pdf				1/50	- 5/

最高高さ 20+150+8113+682.5+0.6=8693

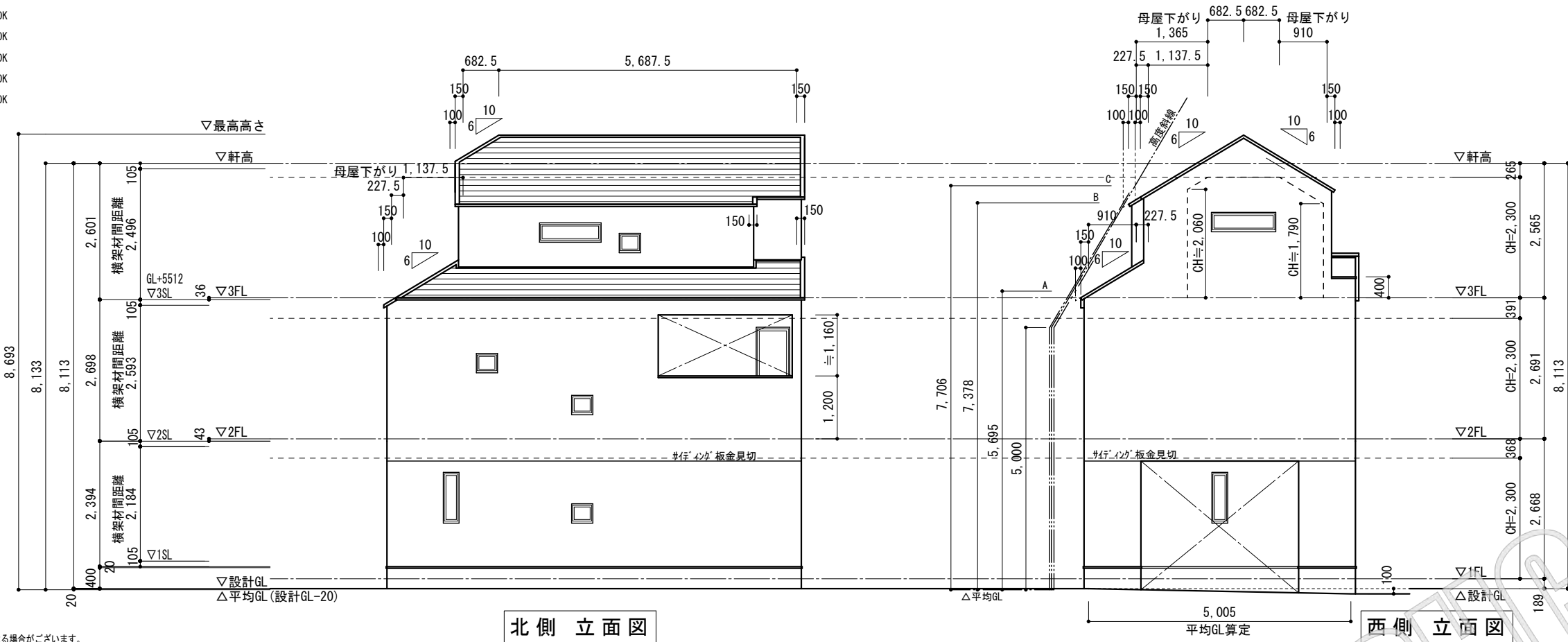
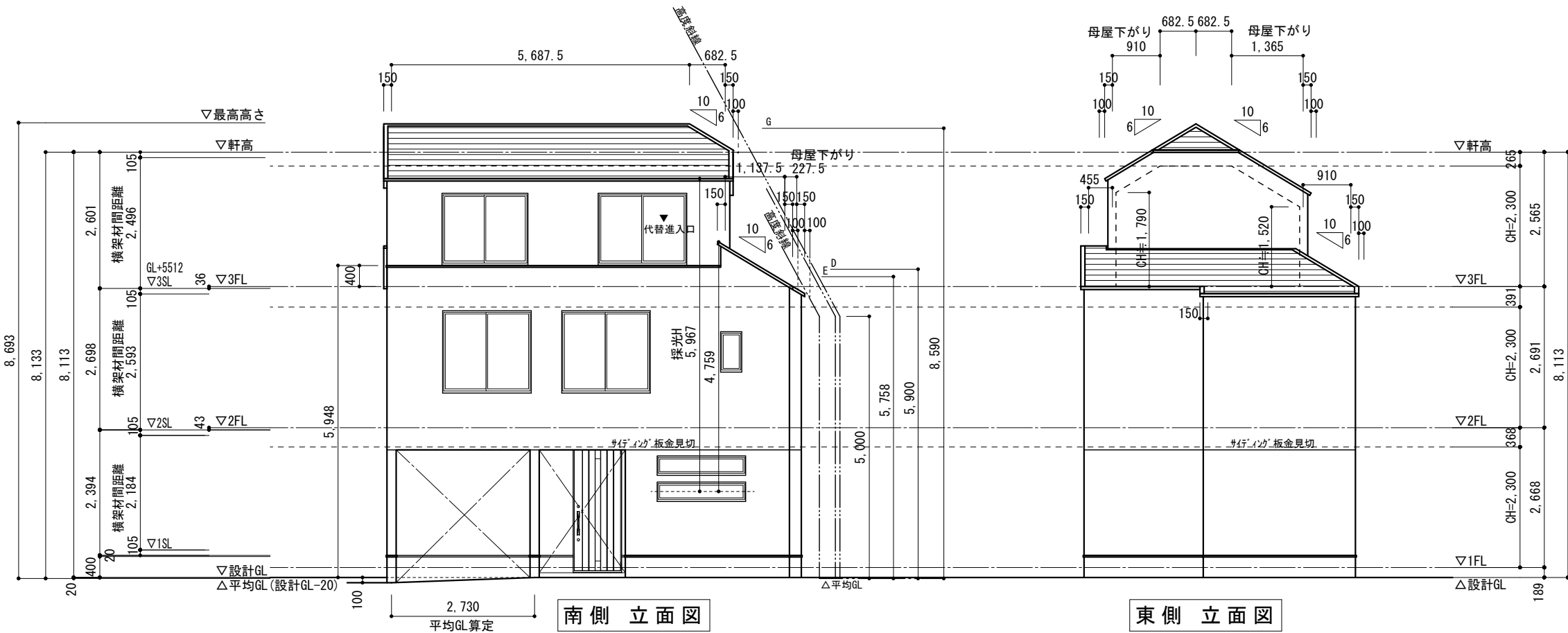
※軒高より上部は小屋組みとする
※屋内側の防火被覆は小屋裏天井面まで達するものとする

■外部仕上

屋根：スレート葺（NM-2093）
屋根（バ）ルニニ床・フラットルーフ
FRP防水合板下地 繊維混入ケ酸カルシウム板t=12（NM-8578）
外壁：窯業系サイディング t=14以上・通気工法（QF045BE-9226）
軒裏：窯業系サイディング 無孔板t=12（QF045RS-9122）
※ 屋根断熱（屋根・ルーフバ）ルニニ共
通気用に下記（同等品）を設置
屋根換気棟：防火仕様
軒先板金：トコ/ST7-フレッシュ（不燃材）
軒天通気見切（上裏等）（QF045RS-0053）

高度斜線計算式			
	斜線の高さ	建物の高さ	高さの差
A	$556 \times 1.25 + 5000 = 5695$	$20 + 150 + 5512 - (150 + 100) \times 0.6 = 5532$	163 OK
B	$1903 \times 1.25 + 5000 = 7378$	$20 + 150 + 8113 - (1365 + 150 + 100) \times 0.6 = 7314$	64 OK
C	$2165 \times 1.25 + 5000 = 7706$	$20 + 150 + 8113 - (1137.5 + 150 + 100) \times 0.6 = 7451$	255 OK
D	$720 \times 1.25 + 5000 = 5900$	$20 + 150 + 5512 - (227.5 + 150 + 100) \times 0.6 = 5396$	504 OK
E	$607 \times 1.25 + 5000 = 5758$	$20 + 150 + 5512 - (150 + 100) \times 0.6 = 5532$	226 OK
F	$2843 \times 1.25 + 5000 = 8553$	$20 + 150 + 8113 - (910 + 150) \times 0.6 = 7647$	906 OK
G	$2872 \times 1.25 + 5000 = 8590$	$20 + 150 + 8113 - (150 + 100) \times 0.6 = 8133$	457 OK

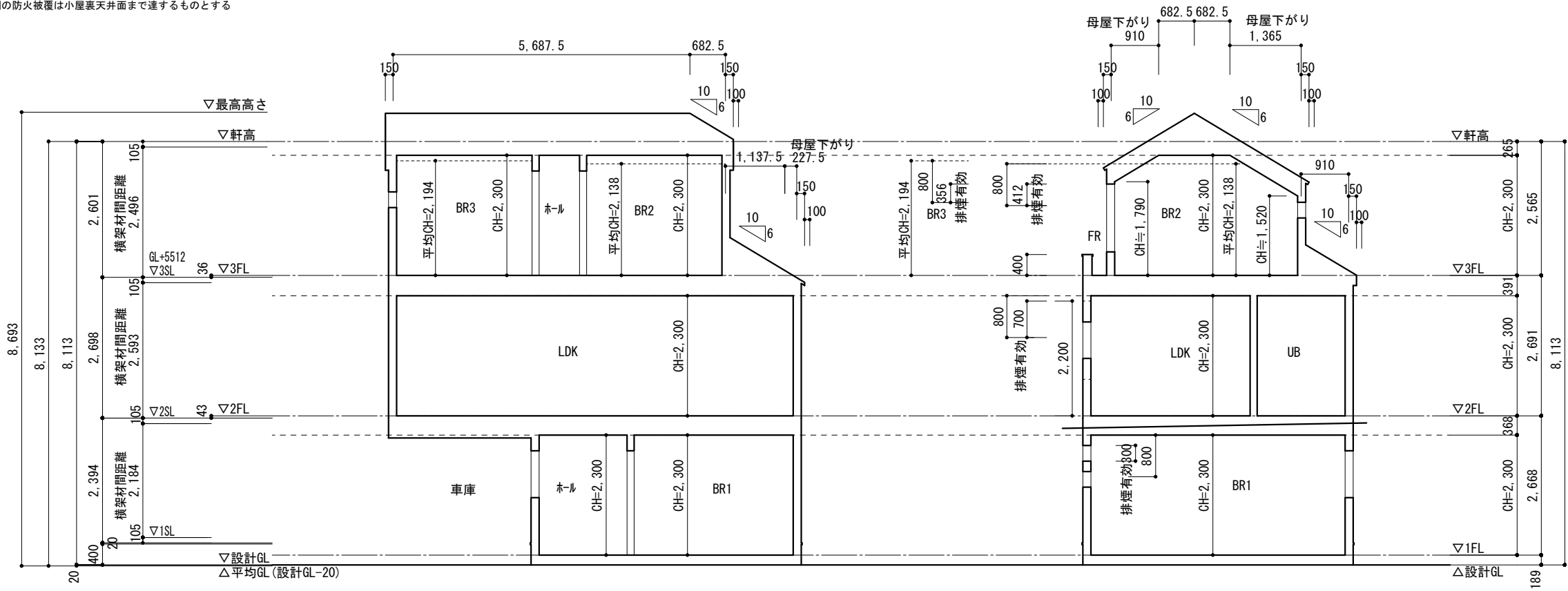
道路斜線は天空率による



※必要に応じ配線・配管等の設備ハースを設ける場合がございます。設備ハースを設ける場合、天井高・壁厚などが変更になる場合がございます。

基準法中間検査有	株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所 一級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一	工事名	スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事		作成年月日	2026.09.08
		図面名	立面図		更新日	-

最高高さ 20+150+8113+682.5*0.6=8693
※軒高より上部は小屋組みとする
※屋内側の防火被覆は小屋裏天井面まで達するものとする



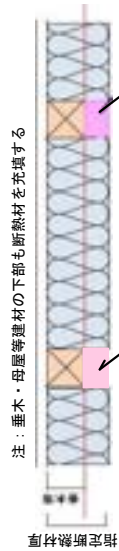
西-東 断面図

南-北 断面図

※必要に応じ配線・配管等の設備ハッチを設ける場合がございます。設備ハッチを設ける場合、天井高・壁厚などが変更になる場合がございます。

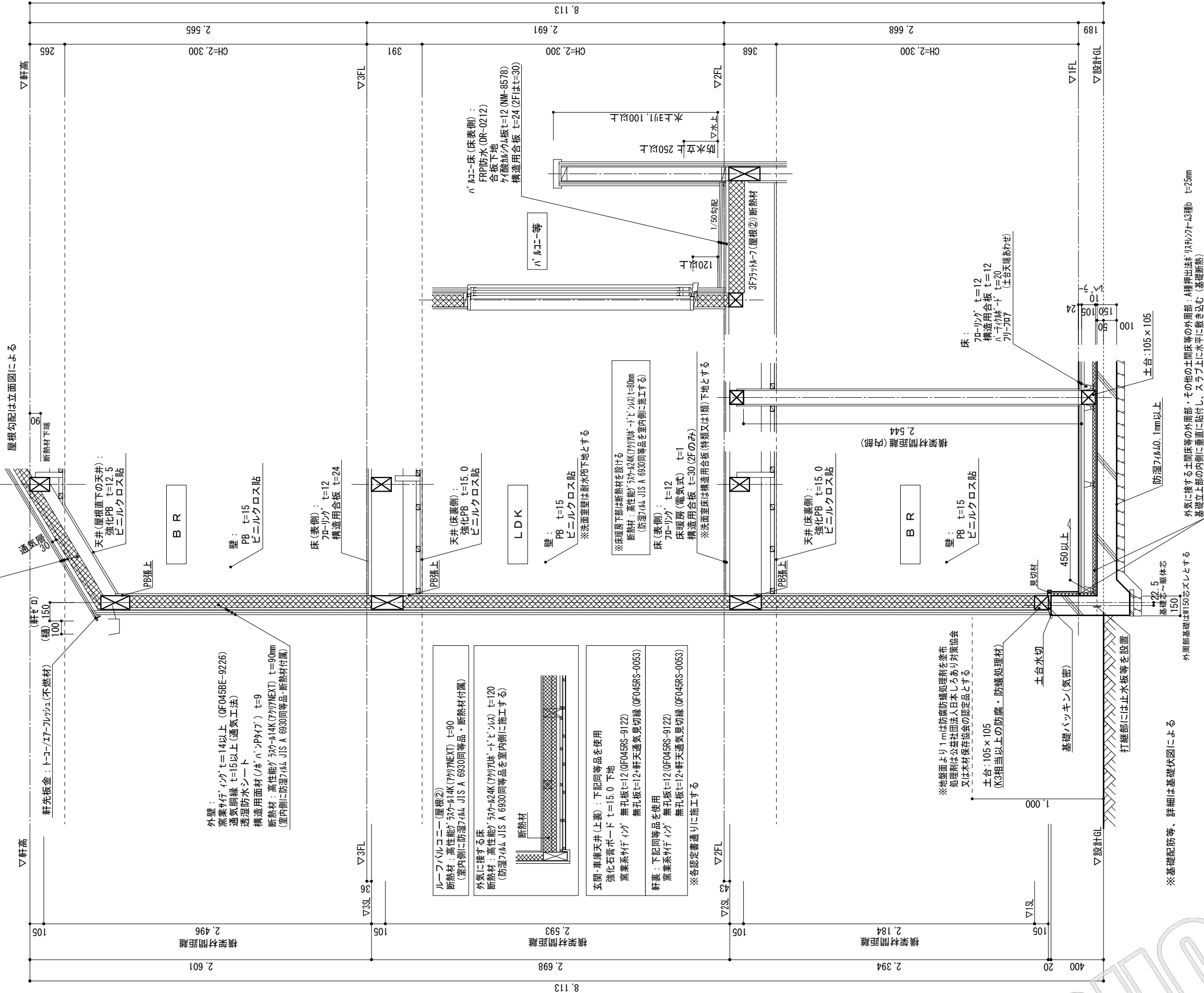
基準法中間検査有			工事名	作成年月日	
			2026.08.18		
株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所 一級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一 認申請 2026-08-18-5-068 6 A-意匠図20260930.pdf			図面名	縮尺	更新日
			断面図	1/100	-

株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所 一級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一	基準法中間検査有	図面名 矩計図	工事名 スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事	縮尺 1/30	更新日 -
				作成年月日 2026.09.05	



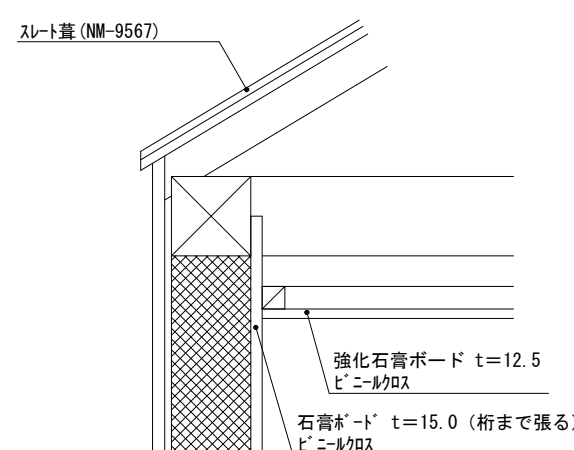
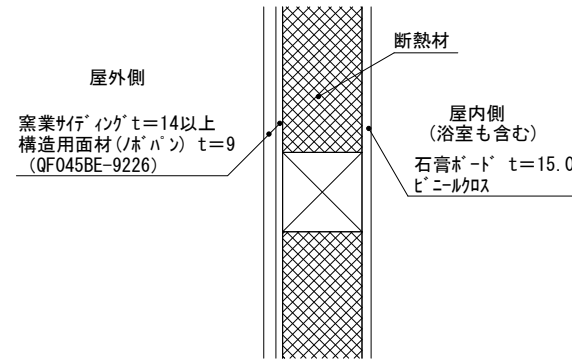
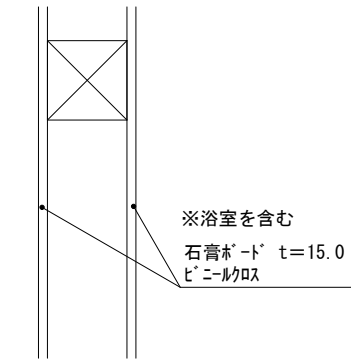
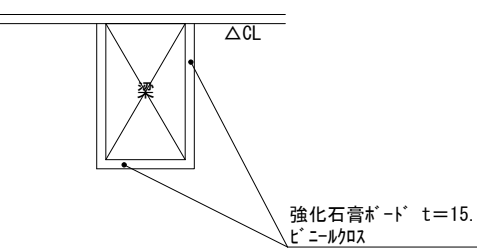
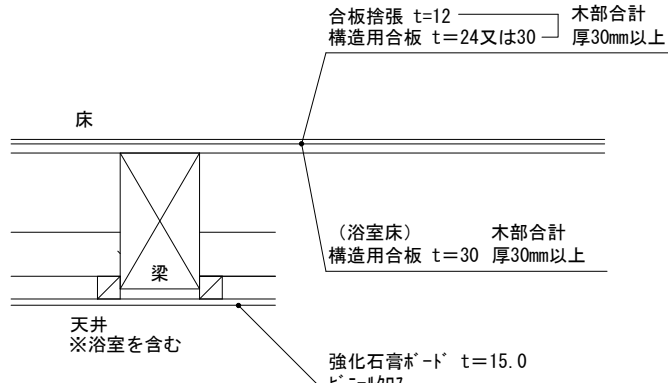
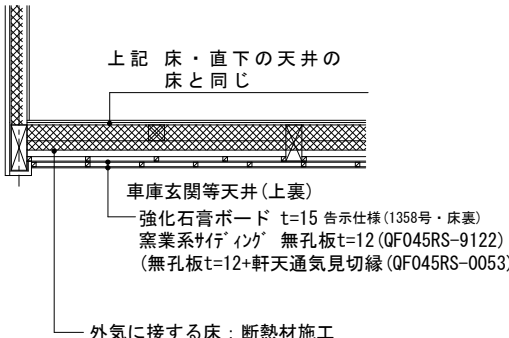
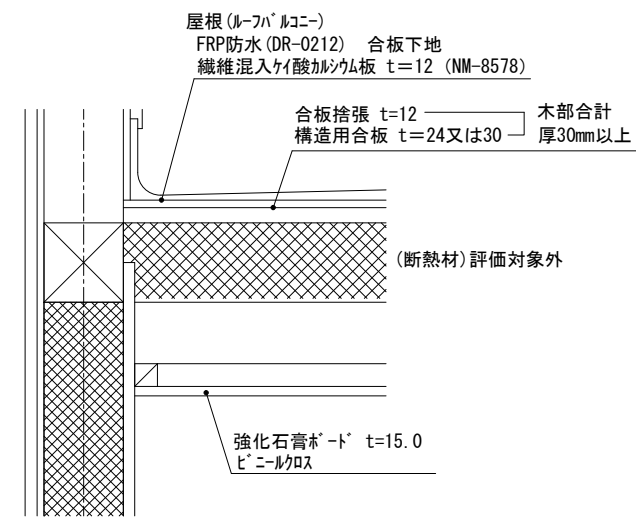
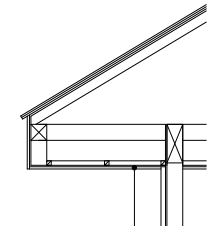
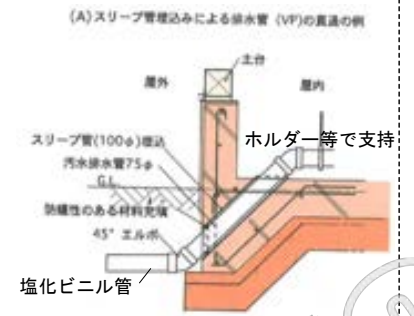
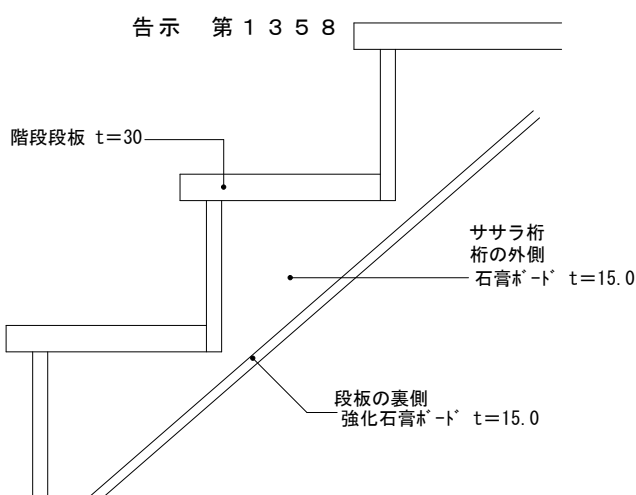
断熱材仕様		部位	断熱材の種類	断熱性能	熱抵抗値
屋根① (勾配屋根) 屋根② (平・丸二)		高性能 [※] 50kg/14kg (旭フイルム [※] 7/77NEXT) 7/10mm		0.038以下	2.4
壁		高性能 [※] 50kg/14kg (旭フイルム [※] 7/77NEXT) 7/10mm		0.038以下	2.4
その他の床		-		-	-
外気に接する床		高性能 [※] 50kg/14kg (旭フイルム [※] 7/77NEXT) 7/120mm		0.036以下	3.3
外気に接する土間床等の外周部		A種準出法 [※] 7/107-43種 [※] 7/107-43種 [※] 7/125mm		0.028以下	0.025±0.020=0.09
その他の土間床等の外周部		A種準出法 [※] 7/107-43種 [※] 7/107-43種 [※] 7/125mm		0.028以下	0.025±0.020=0.09

屋根：スレート葺 (NM-9567)
757mm×114mm 22Kg
野地板 (構造用合板) t=12
垂木 45×60
通気層 t=30
防風層 (断熱材の室外側に孔あき[※] 150mm×14mm・断熱材付属)
屋根① 断熱材：高性能[※] 50kg/14kg (7/77NEXT) t=90mm
(室内側に防湿7/14 JIS A 6930同等品・断熱材付属)
※断熱材は通気層を設け屋根面に設置



※基礎配筋等、詳細は基礎伏図による

外気に接する土間床等の外周部・その他の土間床等の外周部：A種準出法[※] 7/107-43種[※] t=25mm
基礎立上部の内側に垂直に設けし、スラブ上に水平に敷き込む (基礎断熱)

屋根・屋根直下の天井	外壁	間仕切壁・柱	梁
			
床・直下の天井	床・玄関等天井(上裏)	バルコニー/FRの床・直下の天井	軒裏
			告示 第1358(45分)  軒裏： 窯業系サイディング 無孔板 t=12 (QF045RS-9122) (無孔板 t=12+軒天通気見切縁 (QF045RS-0053))
階段(裏面)・(側板)	告示第1358号、第203号による構造 外部サッシ：国土交通大臣認定防火設備 スイッチ・コンセント廻り： ＜石膏ボード穴開け面積100cm2未満＞鋼製裏ボックス ＜100cm2以上＞周囲を石膏ボードで被覆する	フラット35S（耐久性・可変性）対応仕様（申請ナシ） 専用配管(排水管・給水管・給湯管・ガス管)は、次による。 * 壁、柱、床、はり及び基礎の立ち上がり部分を貫通する場合を除き、コンクリート内に埋め込まない。 * 地中に埋設された専用配管の上には、コンクリートを打設しない。(建物外部に存在する土間床コンクリート・構造躯体に影響を及ぼさないものを除く) * 排水管(継手・ハッチ-含む)の内面は管内の清掃に支障を及ぼさぬよう凹凸がないものとし、たわみ・抜け・変形等が生じないように設置する。 スリーブ管のべた基礎への埋設 ①建物から屋外への排水は基礎コンクリート打設前にスリーブ管を埋設する。 ②スリーブ管は内部に挿入した排水管が取替えしやすいように余裕ある管径とする。 ③スリーブ管は基礎配筋を除けた位置に挿入し、鉄筋がふり厚を損なわないようにする。 ④基礎の外周取合い部では排水管とスリーブ管との隙間には防蟻性のある材料（ルーフィング用コールドロールピッチ又はゴム状の瀝青シール等）を充填する等、防蟻上有効な措置を施す。 仕様 土台：米松KD/K3相当以上の防腐防蟻処理材 外壁下地材：バ-テイクボード(ノボパン)/防腐防蟻処理 柱：木付ウッド(JAS集成材)/K3相当以上の防腐防蟻を現場塗布 柱以外の軸材：(JAS集成材)/K3相当以上の防腐防蟻処理 浴室：UB 洗面脱衣室：防水上有効な仕上(耐水PB・耐水合板) 	
			

基準法中間検査有		工事名	スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事	作成年月日	2026.08.18
株式会社 プラス建築設計 一級建築士事務所 級建築士 国土交通大臣登録 第308574号 島田 弘一		図面名	準耐火リスト・特記	縮尺	更新日
確認申請 2026-08-18-5-068-6 A-意匠図20260930.pdf				-	-

【分電盤、ガス設備、給排水設備設置位置】

	室名	分電盤	ガス	給水	排水
3階	トイレ			○	○
	キッチン				
	UB				
	洗面				
2階	トイレ				
	キッチン		○	○	○
	UB		○	○	○
	洗面	○		○	○
1階	トイレ			○	○
	キッチン				
	UB				
	洗面				
	外部			○	

※設置する室にチェックすること

【共通事項】

- 腐食のおそれのある部分には内外被覆鋼管、硬質塩化ビニル管、防食テープ等の腐食防止の措置を講じる。
- 仕様書に記載された事項の他は「建築設備設計・施工上の運用指針(最新版)」による。
- 建築設備の配管設備の設置・構造は令129条の2の4による。
- 建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものとする。
- 給水、排水その他の配管設備(給湯設備を除く)は、以下を確認する。
 - ①風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 - ②建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - ③管の伸縮その他の変形により、当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継手又は、可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - ④管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の衝撃及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平12建告第1388号第5に定める給湯設備の構造方法によること。

【換気設備】

- 換気設備の構造は令129条の2の5による。
- 3階建以上の建築物のダクトは不燃材料とする。ただし、火気換気ダクト以外のダクトについては平12告示1412に適合する場合はこの限りではない。

【特記事項】

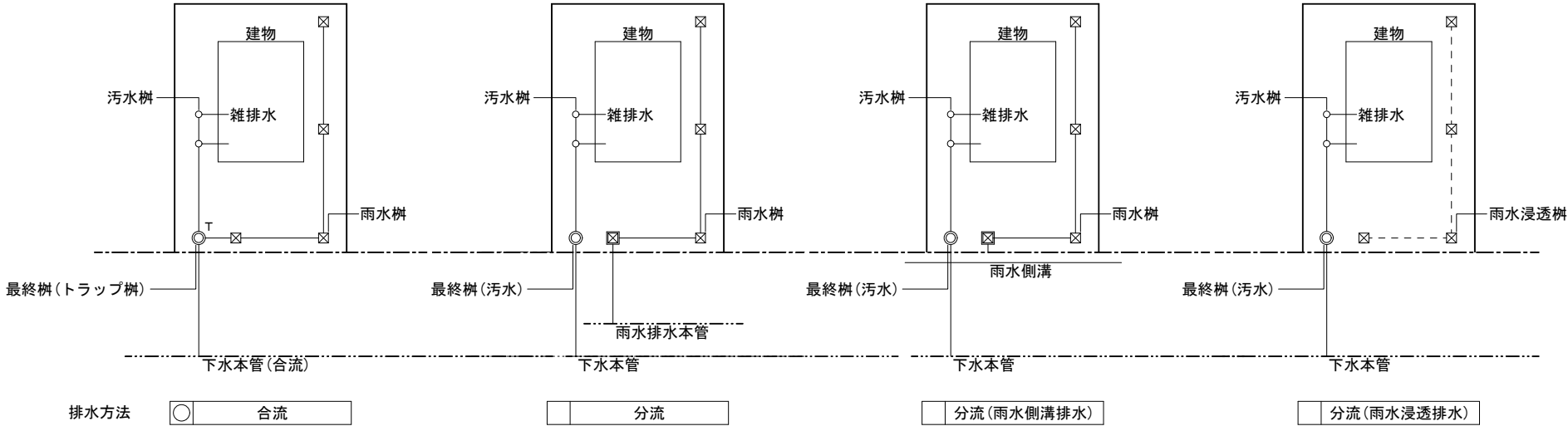
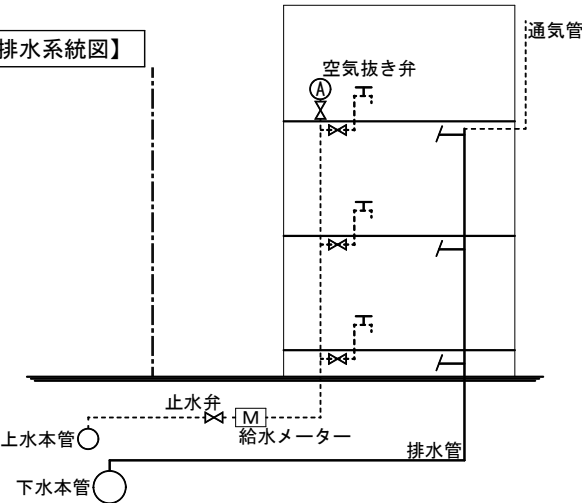
【給水設備】

- 給水設備、給水装置の構造、材質については水道法、所管水道局の基準による。
- 配管材料は不浸透質耐水材料、水質汚染のないものとする。
- 給水設備の水栓の開口部には吐水口空間を確保する。
- 凍結の恐れのある部分には凍結防止措置を行う。
- ウォーターハンマーの恐れのある部分にはウォーターハンマー防止措置を行う。

【排水設備】

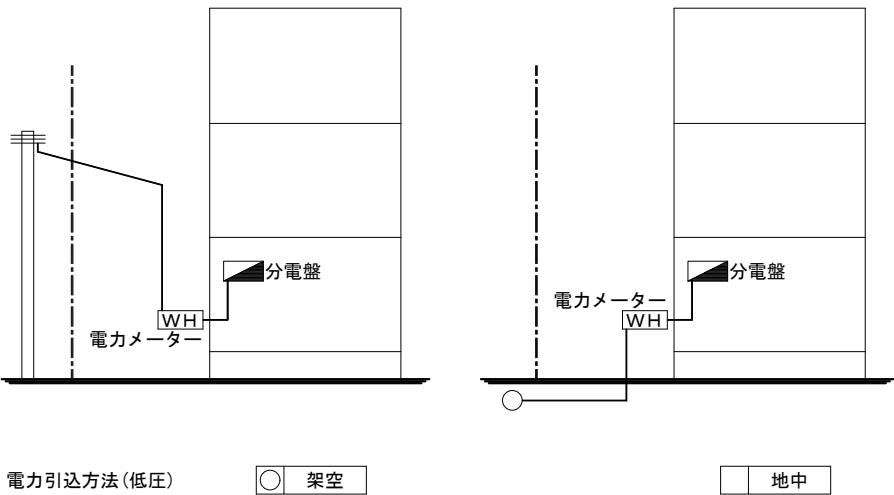
- 排水設備、排水施設の構造については下水道法、所管下水道局の基準による。
- 配管材料は不浸透質耐水材料とする。
- 排水トラップ、通気の構造は昭50告示1597第2による。
- 雨水排水管と汚水排水管の合流部は雨水側に排水トラップを設置する。

【給排水系統図】



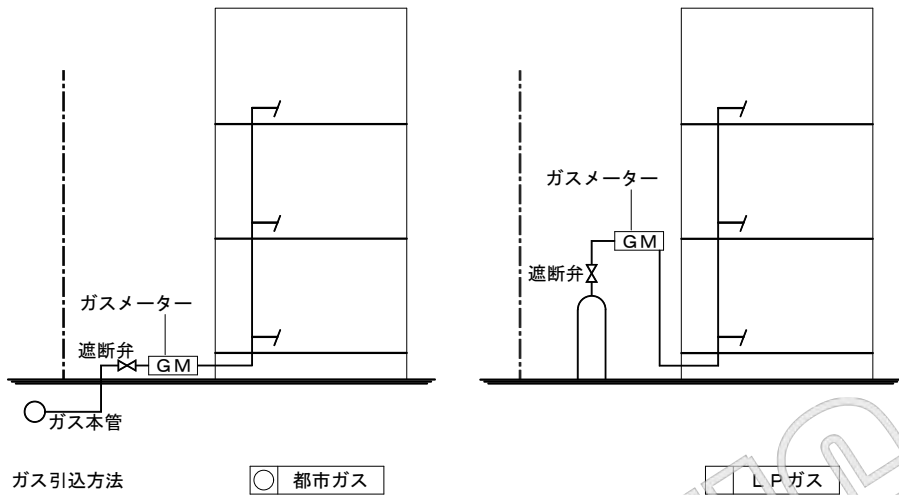
【電気設備】

- 電気設備は電気事業法の基準による



【ガス設備】

- ガス設備はガス事業法、液化石油ガス保安法の基準による



基準法中間検査有

工事名

スマイルファミリー 北区赤羽台3丁目 新築工事

作成年月日

2026.08.18

図面名

設備系統図

縮尺

更新日

-

-